



森ボラ 通信

第208号 2019年9月20日発行
 NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
 URL <https://www.shinrin-npo.info/>
 札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
 TEL (fax): (011) 816 - 7010
 E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

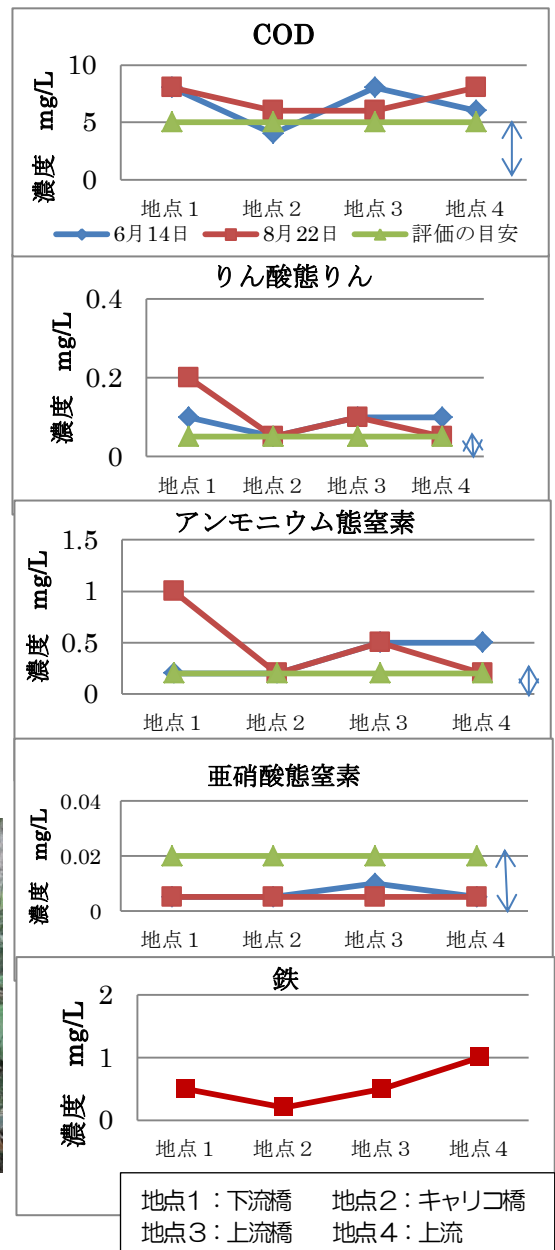
◆ 右精進川 8月の水質検査

8月22日くもり空の下、2回目の水質調査を実施しました。1回目の6月14日は守屋開先生のご指導を得ながらの調査でしたが、今回は森ボラ5人衆(樺棒、佐野、加藤、合田、本郷)のみでの調査です。前回の経験から佐野さんが採水ビン、白いソックなどの用意をしてくださったので手際よく調査でき、暗黙の了解で役割分担ができていました。私は前回同様に記録係を務めさせていただきました。

前回と大きく異なったのは水生生物です。水生生物が全く見つからなかった上流で、なんとエゾサンショウウオの幼生がいました。他にもトビゲラ、カゲロウ、ブユがいました。また、6月14日は下流橋にのみ見られたカワニナが今回は下流橋とキャリコ橋で見つかりました。下流橋ではオニヤンマのヤゴが見つかり子供のころのように心躍りました。

4地点での電気伝導度、pHについては2回とも近い値が得られています。パックテストの結果は1回目、2回目の測定値をグラフにしてみました。上流での川水、石ともに赤褐色なので鉄の含有量を今回新たに検査しました。おおざっぱにCOD(化学的酸素要求量)、りん酸態りん、アンモニウム態窒素の測定値が望ましい範囲から逸脱していることがわかります。まだまだデータ収集が必要だと思います。

10月4日に守屋先生のご指導を頂きながらの3回目の調査を実施します。結果の考察はこれからです。ホテルが舞うきれいな川を子供達に残すために何ができるか、その第1歩になることを期待しています。(文・本郷)



COD: 化学的酸素要求量
 Chemical Oxygen Demand
 とは、水中の有機性物質を酸化するために必要とする酸素量で示したものである。代表的な水質の指標の一つであり、排水基準や海域と湖沼の環境基準に用いられている。一般的にCODが高いほど有機物量が多く、水質が悪化していると言える。



◆ 森林活動安全講習を実施

8月22日(木)に澄川環境林において森林活動安全講習を実施しましたので、伝達講習として皆様にその概要をお知らせします。

当日の参加者は19名で、講習内容は多面事務局の資料などを参考に当会でまとめ、その概要は以下の通りです。詳細なテキストが必要な方は事務局に連絡をお願いします。なお、講師は当会会員の樫棒、大窪、合田が分担しました。

1. 災害発生概要

最近の災害発生として本州のボランティア活動中に被災した事例を紹介。里山林の整備でアカメガシワ(直径40cm、樹高15m)を被災者が伐倒したところ、後方2mにあった幹が交差していたマテバシイ(直径12cm、樹高10m)が共に倒れて下敷きとなり被災した。当会の対策としては、昨年からは始めている安全確認者の設置と徹底を確認しました。



2. 安全確保

労働安全衛生規則の一部が以下のように改正されました。

- ①受口を作る立ち木の太さを、胸高直径40cmから20cmに適用範囲を拡大。
- ②かかり木の速やかな処理。
- ③立ち木の高さの2倍に相当する距離を半径とする円内の立入禁止。
- ④伐木作業者の切創防止用防護着(防護ズボン、チャップス)の着用の義務付け。

ボランティア活動には労働安全衛生規則は適用しないが、災害の発生リスクは同じです。同規則を遵守しましょう。

3. 注意事項

- ①ヒヤリ・ハットの経験の共有、体調管理、服装、安全装備、仲間とのコミュニケーション、応急治療知識、天候の変化などに留意する。
- ②安全装備：ヘルメット、手袋、ゴーグル、防護服、安全靴などを着用。
- ③保険加入：傷害保険、賠償責任保険に加入。(当会員は加入済み)
- ④安全講習の実施。

4. マダニ対策

- ①マダニの生息場所：シカ、ウサギなどの野生動物の生息する環境に多く生息。
- ②服装：野外では腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう。
- ③身を守る：吸血中のマダニを無理に取り除かず、医療機関で適切な処置を受ける。数週間は体調の変化に注意し、発熱等の症状が出た場合は医療機関で診察を受けて下さい。
- ④忌避剤：ディート、イカリジンの2種類の有効成分が配合された忌避剤が市販されている。忌避剤は完全に防ぐわけではないので、忌避剤を過信せず様々な防護手段と組合せて対策をとる。

5. ガソリン携行缶の取扱い

平成25年8月の京都府福知山市花火大会の事故等を踏まえ下記の事項に留意。

- ①ガソリンの噴出に注意する。
- ②直射日光の当たる場所や高温の場所で保管しない。
- ③周囲の安全を確認する。
- ④フタを開ける前にエンジンを停止する。
- ⑤フタを開ける前にエア抜きをする。
- ⑥注意事項の表示をガソリン携行缶に行う。

6. 熱中症について

- ①熱中症は予防が大切：屋外では帽子。水分をこまめに補給。日陰を利用。汗をかいたら塩分の補給。
- ②体に異常が発生：まずは涼しい場所へ。衣服をゆるめる。体に水をかけたり、濡れタオルをあてて体を冷やす(脇の下、首筋、足の付け根)。
- ③症状(めまい、失神、筋肉痛、硬直、大量の発汗、頭痛、不快感、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、意識障害、けいれん、手足の運動障害、高体温)が見られて、呼掛けに答えられない場合は救急車を呼ぶ。

これからも油断せずにこれらの事項をお互いに注意しながら、安全、安心な森ボラ活動にしましょう。
(文・樫棒)

◆ “道民森づくりの集い2019” に出展

9月8日は台風の影響でしょうか・・・強い南風と30度を超す暑さの中で野幌森林公園開拓の村を会場に33の団体が集まり「道民森づくりの集い2019」が開催されました。目新しさは感じられませんでした。子供連れの親子で賑わい立ち並ぶブースで楽しんでいました。我が協会もこの数年同じ様な出展内容にも拘らず、来てくれる子供たちの好奇心を誘ったのは小径木(イタヤカエデ、シナノキ、ホオノキ)を手鋸で輪切りに挑戦。そして表面を研磨し、そのプレートに思い思いに下絵を描いてバーニングペンで焼き付けして、仕上げは裏にHFVAの焼き印を押してマイコースターの完成です。宝物の様に大事に持ち帰って呉れました。高学年の女子とおかーさんにとってリースやクラフト体験が人気でした。準備したリース20輪とシラカンバを土台にしたキャンドル立て10個、それに装飾用のマツボックリ、クルミ、乾燥したオオウバユリやフウセンカズラ等々を組み合わせて夢中になり、1時間近くも創作に汗を流していた親子もいました。講師役の西野澄子さんはお昼も摂れず、アンパンでエネルギーの補給しながら頑張っておりました。勿論、参加した他の協会員9名も同様で、暑い中汗を拭き拭き丁寧な指導で・・・まるで孫と遊んでいる様でした。



協会のブース、手前はノコギリ体験



好評なリース作りコーナー

協会にとっても一年に一度の他の出店団体との情報交換は貴重な場です。今回お世話になったリバーネットの山本さんから間伐材を使って木の枝の鉛筆、笛そしてラワンコプターの作り方の手ほどきを受けました。来年の親子森林教室の参考にさせていただきます。
(文・事務局)

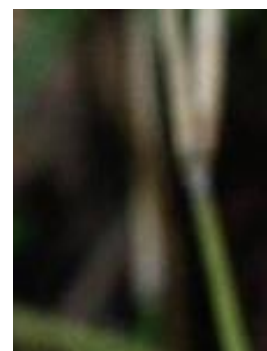
■ 澄川の自然

オニノヤガラ(鬼矢柄) ラン科

7月8日澄川南小学校の子供達が学習する樹木を選定している時に見つけました。葉緑素を持たない腐生植物です。丈は1m位、花が咲いているのに葉っぱは付けないし、もう枯れてしまっている様なとても美しいとは言えない植物です。

1本見付けると次々目に入ってきて10本位あったでしょうか。この根茎を乾燥させたものは天麻と呼ばれる貴重な薬用(漢方薬)になります。

また、ナラタケはボリボリというキノコでオニノヤガラはこのキノコの菌を食べて生きているとの事です。A-3区で見付けてからしばらくして小屋前の作業台とその右にあるシラカンバの木との間に1本、オニノヤガラが生えているのを見つけました。たった10cm位の間のシラカンバの根元です、びっくりしました。
(文・西野澄子)



写真・三橋/2019.7.8

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤、佐野・釣井、三橋・矢澤、矢野

1. 2019年10月、11月スケジュール(10月幹事会10月2日(水)13:30～16:00)
2. 2019年8月会計報告:確認しました。
3. 森林・山林多面関係:事業の進捗状況報告、今後の予定、事故防止講習実施予定(8/22)。
4. 道民の森づくりの集いin2019(9/8)出展内容最終確認:鋸体験、コースター・名札・リース作り。
5. 研修旅行(9月25～27日):最終確認をしました。
6. 報告
 - ・ 8/22 右精進川水質検査報告:水質の傾向は第1回と同様。
 - ・ 9/3,4 烏柵舞の森活動報告:下草刈り・バス用草刈り・看板補修終了、シラカンバ除伐
7. 各専門委員報告
 - ・ Dropbox 活用:さらに利用を促進。
8. 現場対応他
 - ・ 9/19,20 烏柵舞(コンサ)の森対応:10月の育樹祭に向けて準備。
 - ・ 10/1 CGCジャパン第27回遊女会烏柵舞の森視察:酒井、樫棒、大窪、市山で対応。
9. その他
 - ・ 高額機材購入(刈払い機1台):承認されました。
 - ・ 9/13 都市緑化機構 緑の都市賞 澄川環境林視察
 - ・ 冬季活動時間の検討:1～3月は9:30開始～12:00終了、12月と4月は弁当持参の上、その日の気象状況を判断して終了時間を決める。(12時で止めるか or 弁当を食べて午後もやるか)
 - ・ チェンソー講習会受講(コマツ教習所):松藤さん受講

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
8月17日(土)	澄川	10	キャリコ道整備、森づくりフェスタ準備
8月20日(火)	有明	9	作業道草刈り、北東高台部整備
8月22日(木)	澄川	19	安全講習、水質調査、製材、ホダ場整備
8月24日(土)	澄川	10	製材、ニセアカシア萌芽処理
8月27日(火)	澄川	13	製材、ニセアカシア萌芽処理
8月30日(金)	澄川	13	製材、ホダ場整備、草刈り
9月3(火)～4日(水)	支笏湖烏柵舞の森	16(15)	下草刈り、看板補修、シラカンバ除伐
9月6日(金)	ラルズ生活研究C	11	幹事会
9月8日(日)	野幌開拓の村	13	道民森づくりフェスタ in2019、コースター・リース作り体験
9月10日(火)	澄川	10	作業道草刈り、機器整備、避難小屋周辺整理
9月12日(木)	有明	10	ニセアカシア除伐、食害防止網設置
9月13日(金)	澄川	4	都市緑化機構2名澄川視察、札幌市ヒアリング
9月14日(土)	澄川	16	製材、ニセアカシア処理、三重県いなべ市9名来訪